

テーマ わびさびを日常に （エントリー番号：0281）

1. 背景・課題

現代社会は常に「音」と「情報」にさらされており、人々は疲労を自覚する前にストレスを蓄積している。店内 BGM・雑踏・通知音・視覚刺激に囲まれる日常は、静けさそのものを“贅沢”に変えてしまった。特に、働く社会人・家事育児を担う主婦・学業と生活に追われる学生など、“頑張りすぎてしまう層”は癒しを求めながらも、休息を取る機会を見失っている。

2. コンセプト：「わびさび」を五感で再現する“静けさの装置”

ショッピングモール・オフィスビル・駅ビルなどに小規模な休息スペースを設置。完成や豪華さを追求せず、「余白」と「侘び寂び」を核にした空間を提供する。

【空間構成】

・防音構造による外界遮断、砂利床・笹のそよぎ・ししおとしの音、葉擦れや足音が響く静かな環境、苔・木材・森林映像による穏やかな視覚刺激。人は“何もしない余白”の中でようやく自分に戻れる。そして静けさを「機能」ではなく「感情」として体験させることで、滞在価値を高める。

3. ターゲット→忙しいと感じるサラリーマン、主婦、一時の癒しを求める現代人

